



チャレンジ
25

滋賀銀行は、「エコ・ファースト企業」として、
温室効果ガス25%削減に取り組んでいます。

もっともっと、知ってほしい
ことがあります。



ミニディスクロージャー誌

なるほど しがぎん

平成23年4月1日－平成23年9月30日



滋賀銀行

<http://www.shigagin.com>



ごあいさつ

皆さまには、平素より格別のご愛顧を賜りまして、誠にありがとうございます。

東日本大震災やタイの大洪水など自然災害が続発し、また、欧州経済の混乱をはじめ海外経済の減速により、私たちを取り巻く環境は不透明感を増しております。

このような中で、当行では昨年4月にスタートさせた「第4次長期経営計画」が折り返し地点を迎えました。引き続き厳しい状況が続くと予想されますが、当行は、基本ビジョンである「“対話力”強化による更なる共存共栄」への取り組みを一層推し進め、お取引先のさまざまなご要望に、的確・迅速にお応えすることで、地域経済の更なる活性化を目指してまいります。

今後とも、一層のご愛顧、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年12月



取締役頭取

大道良夫

CSR憲章 [経営理念]

行是
自分にきびしく
人には親切
社会につくす

私たちは、伝統ある近江商人の「三方よし(売り手よし、買い手よし、世間よし)」の精神を継承した行是「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」をCSR(企業の社会的責任)の原点とし、社会の一員として「共存共栄」を実現してまいります。

地域社会との 共存共栄

地域とともに歩む銀行として、お客さまの信頼と期待にお応えするため、「健全」と「進取」の精神を貫き、地域社会の発展に努めます。

役職員との 共存共栄

役職員一人ひとりの人権や個性を尊重し、働きがいのある職場づくりに努め、心身ともに「クリーンバンクしがぎん」の実現に努めます。

地球環境との 共存共栄

琵琶湖畔に本拠を置く企業の社会的使命として「環境経営」を実践し、地球環境を守り、持続可能な社会づくりに努めます。

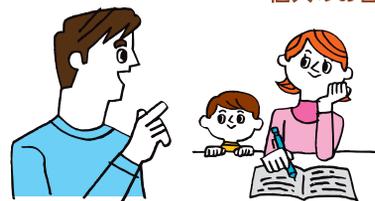
滋賀銀行データ

名称	株式会社 滋賀銀行 THE SHIGA BANK, LTD.
本店所在地	滋賀県大津市浜町1番38号
設立	昭和8年10月1日
総資産	4兆4,403億円
預金残高	4兆0,499億円 (譲渡性預金含む)
貸出金残高	2兆7,164億円
資本金	330億円
従業員	2,392人
店舗数	139カ店(うち代理店10カ店) (平成23年9月30日現在)

CONTENTS

● ごあいさつ	1
● 個人のお客さま	3~4
● 法人のお客さま	5~6
● 海外ビジネス	7~8
● CSRの取り組み	9~10
● 金融犯罪にご注意ください	11
● しがぎんTOPICS	12
● 財務データ	13~20
● 地域密着型金融の取り組み	21
● 東日本大震災関連の取り組み	22

資産づくりを “安心”“迅速”にサポート します



■ 便利でお手軽『しがぎん』ネット投信スタート!

資産運用をお手軽に、もっと快適に、とインターネット投資信託の取り扱いを始めました。

『しがぎん』ネット投信



1. お申込手数料を割引!

窓口でのご購入に比べて、お申込手数料を20%割引します。(※投信積立を除く)

2. 土日・祝日もお取引可能!

銀行窓口が閉まっている時間帯や土日・祝日もご利用いただけます。

3. 書類管理がいりません!

運用報告書などをご自宅などのパソコンから確認ができ、書類の管理が不要になります。

4. 取り扱いファンドが充実!

インターネットのみで販売するファンドを取り扱うなど、幅広いメニューを取りそろえています。



■ 『しがぎん』ネット投信を始めませんか

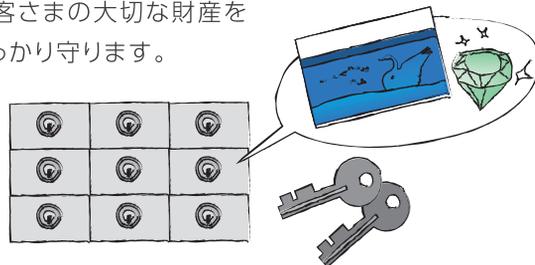
お取引の開始には「投資信託口座」の開設と『しがぎん』ダイレクトの利用申込が必要です。お近くの本支店窓口にご相談ください。

※『しがぎん』ダイレクトのご契約者で投資信託口座をお持ちの方は、テレホンバンキング(0120-556-863)でお申し込みいただけます。

■ 貸金庫に預けて安心

盗難や紛失、火災、自然災害などから財産を守るため、東日本大震災の発生以降、貸金庫をご利用になるお客さまが増加しています。

しがぎんの貸金庫は、営業時間中のご利用が何度でも可能で、専用鍵による開閉のため安心してお預けいただけます。印鑑や契約書などから思い出の品物までお客さまの大切な財産をしっかり守ります。



■ お金と上手にお付き合い

『しがぎん』マネーカフェを開催

「生活・人生・お金」について楽しく学んでいただくため、女性のお客さまを対象に、『しがぎん』マネーカフェを11月9日、16日、南草津パーソナル出張所で開催しました。今後も継続して開催する予定です。



「生活設計の大切さを改めて考えさせられました」と好評でした

お取引先の頼れる“パートナー”を目指しています



■ 地域の経営者を力強くサポート！ 経営者応援ローン『地産地融』

「地域の産業や新しいビジネスを地元金融機関として守り、育てよう」との思いから、中堅・中小企業や個人事業者のお取引先を対象に「経営者応援ローン『地産地融』」の取り扱いを始めました。

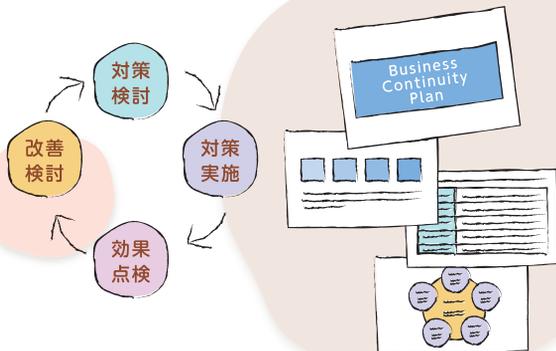
担保や第三者保証人は不要で、運転資金や設備資金などに幅広くご利用いただけます。



■ 災害に強い企業・地域社会づくりを

東日本大震災の発生をきっかけに事業継続計画（BCP）や事業継続マネジメント（BCM）の大切さが見直されています。

しがぎんでは、事業経営に大きな影響を与える災害リスクへの備えとして、事業継続計画書の策定をサポートする「BCP策定コンサルティング」や、防災対策に必要な資金を低利融資する「BCPサポートローン」をご提供。お取引先の円滑な事業継続体制づくりを支援しています。



■ エコビジネスマッチングフェア、今年も盛況

「エコビジネスマッチングフェア2011」を6月21日に開催しました。毎年開催し、今年で4回目。

環境に特化した商談会で、新エネルギー・省エネルギー、リサイクル、環境土木建築など6テーマに合計84社が出展、約2,170名が来場され、612件の商談が繰り広げられました。



ブースには各社の主力
エコ技術が並びました

新たなビジネスに、と
真剣な話し合いが続きます



■ 桂支店が街並みにあわせた外観で 新築移転オープン

お客さまの利便性の向上と快適な店舗づくりを目指して10月17日、桂支店が新築移転オープンしました。

新店舗は京都市の景観条例にあわせて町屋風の切妻屋根を採用。太陽光発電やソーラー街路灯なども取り入れるなど景観と環境に配慮した店舗です。



海外進出の支援体制を ますます充実

■ 上海でビジネスマッチングを開催

日系企業と中国企業との出会いの“場”を提供する「日中ものづくり商談会@上海2011」が平成23年9月6、7両日、中国・上海市で開催されました。

日本の地方銀行など34団体が開催したもので、当行のお取引先13社を含む日系企業469社が参加。販路拡大や新しいビジネスパートナーを見つけようと中国企業約4,800社が入場、熱心な商談が繰り広げられました。



商談件数は2日間で15,000件にのぼりました

■ 中国で新たなビジネス展開 現地法人設立をサポート

当行は、中国で現地法人設立を検討されているお取引先と「アドバイザリー契約」を締結し、進出形態、進出地の選定、法人設立の手続きなどのお手伝いをしています。

また、中国の消費者向けオンラインショッピングモール「銀聯在線商城」への出店もサポートしています。



■ アジアビジネスの最新情報をご提供

当行では香港支店、上海駐在員事務所に加え、アジア諸国に研修生を派遣し、現地の最新情報の収集を行っています。

～経済成長を続ける中国内陸部・武漢市～ 海外研修生レポート

華中地区最大の都市である中国湖北省の省都・武漢市。上海、北京、広州などの大都市まで1,000km圏内にあり、総人口は910万人になります（2010年現在）。

中国政府の内陸振興策で高い経済成長を続け、中国で今、最も注目されている都市のひとつです。



長江（揚子江）沿いに発展し、物流も盛ん

【中国有数の工業都市】

古くから交通の要所として栄え、近年は重工業が産業の中心となっています。特に自動車産業の成長は著しく、日産自動車や本田技研工業のほか、フランス、韓国などのメーカーが進出しています。

【交通の要所から経済の要所へ】

武漢市では新たな橋、高速道路、地下鉄の建設が急速に進み、地下鉄は2004年7月に1号線が開業、2017年までに8路線を開通させる予定です。これら公共事業は雇用を生み、所得が増加し、更なる経済発展につながっていきます。今後もビジネスチャンスが広がります。

生物多様性を保全、琵琶湖の豊かな自然を育みます



■ 子どもたちに「いきもの」学習の場を — 県内4校にビオトープづくり資金を贈呈 —

滋賀県内の小学校4校に6月、「学校ビオトープ」づくりの資金計200万円を贈呈しました。

お客さまがATMやインターネットを利用し、「エコプラス定期」にお預け入れいただくたびに7円(店頭で定期預金申込用紙代相当額)を当行が負担、集まった資金を県内小学校に毎年贈呈しています。

平成18年の開始以来、助成累計は20校954万円となりました。



学校ビオトープに生息する植物や魚たちと子どもたちの交流が続きます
(膳所小学校・平成22年度贈呈先)



学校ビオトープ

野生生物が生息・生育する空間のことで、子どもたちが自然・いきものと直接ふれあう「環境学習」「遊び」の場です。

■ 琵琶湖は未来からの「預かりもの」 — 金融の役割を通じた生物多様性保全を —

琵琶湖の豊かな生物多様性を保全し、将来世代へ引き継ぐため、しがぎんでは「生物多様性保全方針」を策定。環境対応型の金融商品・サービスの提供や役職員参加型の生物多様性の保全、さらには持続可能な社会の実現に努めます。



■ 外来魚駆除釣りボランティアを実施

急増するブラックバスやブルーギルなどの外来魚を駆除し、琵琶湖の豊かな生態系を守ろうと、「外来魚駆除釣りボランティア」を、草津市の琵琶湖畔で5月21日開催。88名が参加、502匹、20.5kgを釣り上げました。



大物を狙い、竿を握る手にも力が入ります



■ 「いきものにぎわい企業活動コンテスト」で 「農林水産大臣賞」を受賞

当行は「第2回いきものにぎわい企業活動コンテスト」(経団連など主催)で「農林水産大臣賞」を受賞、表彰式は10月14日に東京で行われました。

企業の生物多様性保全などの優れた取り組みを顕彰するもので、当行は、フナやモロコの産卵場所を守り・育てる「ヨシ刈り」ボランティア(平成11年開始)や琵琶湖固有種を保護・育成するための「ニゴロブナ・ワタカ放流」(平成19年開始)など、琵琶湖の環境と生態系を保全する「いきものがたり」活動を評価いただきました。



毎年恒例となった「ヨシ刈り」ボランティア



■ 振り込み詐欺にご注意ください

子どもや孫などになりすまして、または税務署や社会保険事務所をかたり振り込みの要求をする「振り込み詐欺」による被害が多発していますので、ご注意ください。詐欺を疑われたら、いち早くお近くの銀行や警察などにご相談ください。

しがぎん振り込み詐欺等被害者ご相談ダイヤル

 **0120-043-157**

(銀行休業日を除く9:00~17:00)

※受付時間外の緊急時は077-521-2146(ATM管理センター)まで。

■ 預金の不正引き出しについて

盗難されたキャッシュカードや偽造カードによる不正引き出し被害にあわないために、次のことにご注意ください。

- ・ 外出時はキャッシュカードを手元から離さず、管理してください。
- ・ 「生年月日」「電話番号」「住所番号」「自動車ナンバー」など、他人に類推されやすい暗証番号は使わないでください。
- ・ 暗証番号を他人に教えたり、キャッシュカードへ記入しないでください。
(銀行員、警察官、県・市職員が電話や訪問によって暗証番号をお尋ねすることは一切ありません。)



TOPICS

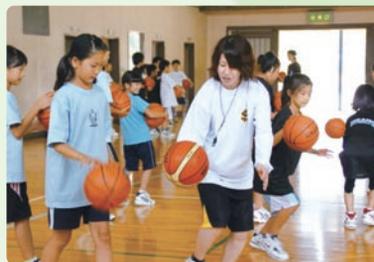
トピックス

■ 青少年スポーツの育成を応援!

— 「しがぎん1日バスケットクリニック」 —

しがぎん女子バスケットボール部(全滋賀バスケットボール部)部員が10月8日、小学生を対象に開催しました。

平成22年度近畿実業団選手権大会で第1位に輝いた部員たちが、バスケットボールの楽しさを知って



もらおうと企画、当日は約50名の児童の皆さんとともに練習に励みました。

元気いっぱいドリブルをする平野スポーツ少年団の皆さん

■ “おうみごと体験フェスタ”で「銀行のおしごと体験教室」を開催

小学生や中学生にさまざまな仕事を体験してもらい、将来の仕事を考える手がかりに、と「おうみごと体験フェスタ」が10月15、16両日、草津市で開催されました。



はじめての札勘定にドキドキです

当行は「銀行のおしごと体験教室」を開き、子どもたちは銀行のしくみを学んだり、お札の数え方などを練習、“お金”を身近に感じてもらいました。

「しがぎんにしてよかった」と、お客さまに選ばれる銀行に

預金残高は順調に増加

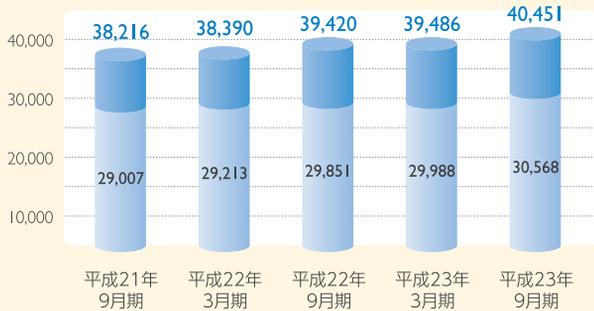
預金等

当期は、しがぎんの「健全経営」が地域の皆さまからのご支持を受けて期中平均残高は前年同期比1,030億円増加、4兆451億円と順調に推移しています。特に、個人のお取引は期中平均残高3兆568億円、年間で2.40%伸びました。

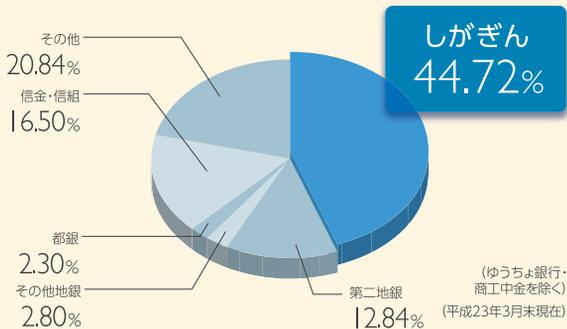
預金等(譲渡性預金含む) 期中平均残高

全体
個人預金

単位:億円



預金残高「滋賀県内シェア」



貸出金は事業者向けが増加

貸出金

当期は、東日本大震災の発生や急速な円高進行、世界経済の減速など先行き不透明感が広がりましたが、貸出金の期中平均残高は前年同期比538億円増加、2兆7,274億円となりました。事業性貸出の期中平均残高は1兆6,851億円、年間で3.27%伸びました。

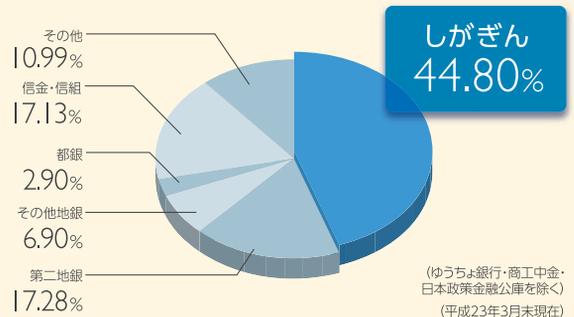
貸出金 期中平均残高

全体
うち消費者向け貸出金

単位:億円



貸出金残高「滋賀県内シェア」



多様な資産運用ニーズを 親身にサポート

個人年金保険、生命保険が増加しました

預り資産 残高

投資信託、公共債保護預り、個人年金保険といった預り資産の残高は前年同期比56億円の増加、5,286億円となりました。特に、生命保険（個人年金保険含む）の販売が好調に推移し、残高が増加しました。

預り資産残高 合計

単位：億円



預り資産残高 内訳

■ 投資信託 ■ 公共債 ■ 生命保険 ■ その他
単位：億円



※生命保険は、取扱開始（平成14年10月）以降の取扱保険料累計です。

格付は安心の 「Aクラス」を確保

2つの格付機関が「A+」と高い評価

格付

「大切なお金は、安心できる銀行に預けたい」。格付はお客さまが安心して選びいただくひとつの目安となる外部評価です。

しがぎんは、2つの格付機関から共に「A+」を取得し、信用度について高い評価を得ています。

日本格付研究所 (JCR)

格付投資情報センター (R&I)



格付

用語説明

銀行預金の元利金支払の確実性や安全性について、利害関係のない第三者が判断してその結果を簡潔な記号で表したものです。銀行を判断するうえで、安全性・信用度を客観的に評価した重要な指標のひとつです。

「健全経営」に、 これからも努めます

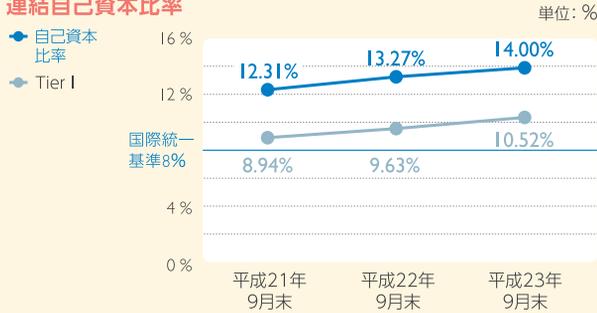
自己資本比率も国際統一基準8%を大きくクリア

自己資本比率

自己資本比率は、銀行の安全性、健全性を図る指標のひとつです。しがぎんのように海外に営業拠点を持つ銀行は、国際統一基準8%以上でなければなりません。

しがぎんの自己資本比率は14.00%（平成23年9月末、連結ベース）と国際統一基準を大きくクリアしています。

連結自己資本比率



自己資本比率

用語説明

銀行の安全性、健全性を判断する基準のひとつに、自己資本比率があります。銀行の自己資本が、予想外の損失に対する備えとして十分であるかどうかを示す指標です。海外支店を持つ銀行は、国際統一基準行として8%以上の自己資本比率を求められています。

国際統一基準による自己資本比率

Tier I

資本金・資本剰余金・利益剰余金などの基本的項目

+

Tier II

有価証券含み益の45%相当額など補完的項目

×100 ≥ 8.0%

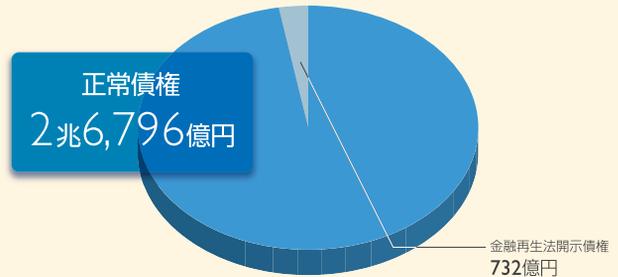
リスクアセット

リスクの度合いに応じて調整した総資産の金額

不良債権は、 引き続き低位に推移

不良債権の状況

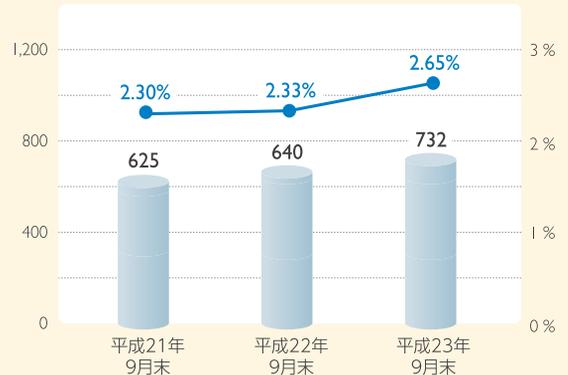
しがぎんの金融再生法に基づく開示債権の合計は732億円、総与信に占める不良債権比率は2.65%となりました。また、貸倒引当金や担保などによる保全率は81.55%です。



金融再生法開示債権

単位：億円

● 対総与信残高比率
単位：%



不良債権比率

用語説明

貸出金等の総与信残高に占める不良債権の割合です。不良債権比率が低いほど、資産の質は高くなります。銀行ごとにその資産総額の規模が異なることから、この比率が銀行の健全性をみる指標の一つになります。

お知らせします、しがぎんの業績

業績ハイライト

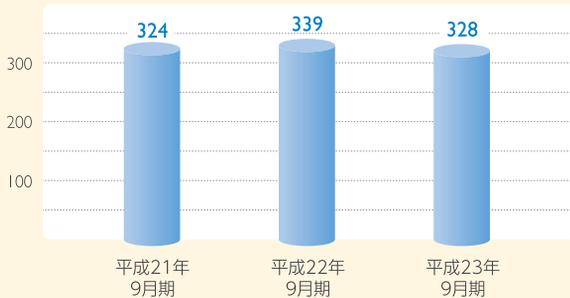
業務粗利益は、投資信託など販売手数料が増加しましたが、債券関係損益が減少したことなどにより、前期比10億円の減益となりました。

しかしながら今期は、与信コストや預金等利息の減少、株式関係損益が改善したこと、また、経費の削減に努めたことなどにより、業務純益、経常利益、中間純利益とも前年同期比で大幅な増益となりました。

業務粗利益

銀行本来の業務（貸出業務、為替業務、有価証券運用など）から得た利益です。

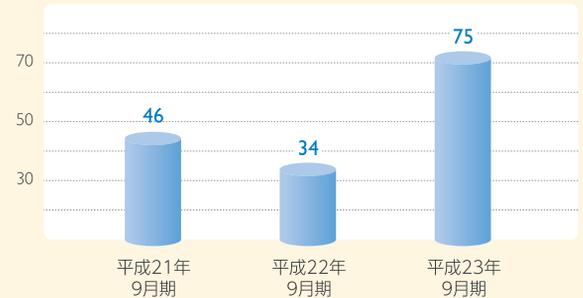
単位：億円



経常利益

業務純益から株式の売却損益や不良債権処理に関わる費用などをプラス・マイナスした利益です。

単位：億円



業務純益

一般企業という営業利益にあたります。

$$\text{業務純益} = \text{業務粗利益} - \text{経費（人件費、物件費、税金）} - \text{一般貸倒引当金繰入額}$$

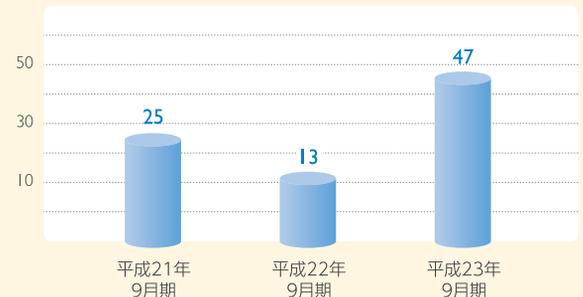
単位：億円



中間(当期)純利益

経常利益から法人税や事業税を差し引いた最終的な当期の利益です。

単位：億円



地域社会との更なる 共存共栄を目指しています

第4次長期経営計画の営業戦略に掲げる3つのブランド戦略(「ネットワークのしがぎん」「アジアに強いしがぎん」「CSRのしがぎん」)の実践を通じて、地域密着型金融の推進を行うため、具体的な数値目標を掲げて取り組んでいます。

今後も“対話力”を一層強化することにより、「高い付加価値を提供できる金融サービス業」の実現を図り、地域社会との更なる共存共栄の実現を目指してまいります。

地域密着型金融の推進の目標および実績(平成22年4月～平成23年9月)

取り組み項目	平成25年 3月末日目標	平成23年 9月末実績	平成23年 9月末 進捗率 (%)
第4次長期経営計画の挑戦指標			
Tier1比率(連結)	9.0%以上	10.52%	
ROE(連結)	3.5%以上	4.53%	
OHR(単体)	65%以下	68.17%	
CO2排出量※1	(2006年度比較) 2.5%削減	56.38%	
「3つのブランド戦略～知恵と親切の提供～」に関する取り組み			
「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み			
ニュービジネスサポート: コーディネート活動件数	100件	40件	40.0%
ビジネスマッチング件数(面談設定)	2,400件	2,584件	107.6%
事業承継提案件数	360件	225件	62.5%
格付コミュニケーション・サービスの実施回数(のべ回数)	3,400回	2,261回	66.5%
債務者区分のランクアップ先数※2	60件	14件	23.3%
中小企業再生支援協議会の活用件数	24件	11件	45.8%
「アジアに強いしがぎん」に関する取り組み			
アジアデスク・海外拠点によるサポート件数	3,600件	2,161件	60.0%
中国進出アドバイザー契約件数	10件	2件	20.0%
海外ミッション、海外商談会	各3回	各3回	100.0%
海外企業とのビジネスマッチング取り組み件数	100件	50件	50.0%
「CSRのしがぎん」に関する取り組み			
エコプラス定期	650,000件	273,366件	42.0%
PLB資金、エコグリーン資金(件数)※3	1,400件	268件	19.1%
PLB資金、エコグリーン資金(金額)	180億円	84.1億円	46.7%
PLB格付BD評価件数※4	3,800件	1,998件	52.5%
災害リスクコンサルティング	100件	333件	333.0%

※1 CO2排出量…CO2排出量の実績値については通期のみとしているため、本欄には、平成23年3月末の実績を記載しております。

※2 債務者区分のランクアップ先数…審査部企業経営支援室が担当となり支援を申し上げるお取引先(対象先 206先)についてカウントします。

※3 PLB資金…「しがぎん」琵琶湖原則(Principles for Lake Biwa) 支援資金

※4 PLB格付BD…生物多様性(Biodiversity)の保全活動に取り組まれるお取引先に対する当行独自の評価体系

東日本大震災関連の 取り組み

東日本大震災により、直接的・間接的に被害を受けた皆さまを支援するため、しがぎんでは次の取り組みを行ってまいりました。

1. お客様のサポート体制

- 4月18日、震災の影響を受けられたお取引先に対して、「東日本大震災に係る特別相談窓口」を全本支店に設置しました。



- 5月2日、被害を受けられた企業・個人事業主向け専用融資商品「BCPサポートローン震災影響対策プラン」の取り扱いを開始しました。
なお、9月30日現在の震災対応融資の累計実績は403件、295億円にのぼります。

2. 義援金の寄付

- 窓口を設置した募金箱へ、お客様の善意によりお寄せいただいた義援金3,895,947円を10月3日までに、滋賀県共同募金会へ寄付いたしました。
- 義援金として、3月22日に当行グループから2,000万円を、4月5日に当行グループ役員から集まった8,897,243円を日本赤十字社へ寄付いたしました。

